

第26回全日本フルコンタクトテコンドー選手権大会 要項

【1】名称 ITA杯 第26回全日本フルコンタクトテコンドー選手権大会

【2】主催 日本テコンドー協会(JTA) 会長 河 明生

【3】後援

*本会が主催する全日本大会は11年連続で東京都の後援及び都知事賞を授与されています。
本年度も七大精神に基づき地道な活動を行い、不祥事ありませんので従来通り申請すれば後援及び都知事賞は許諾されると考えられます。
しかし、本年度も昨年同様、現職の東京都知事がふさわしいとは思いませんので後援申請をいたしません。詳細は日本テコンドー協会HPを参照して下さい。

【4】目的

- 1, 日本におけるフルコンタクト・テコンドーの普及・発展を通じて、日本国民、在留外国人の健全な精神涵養及び体力増進に貢献する。とりわけ健全なる青年および青少年育成に貢献する。
- 2, 日本で一番強いテコンドー一家=無差別級王者をフルコンタクト・テコンドー・ルールで決定する。
- 3, 体系化された蹴りの武道を表徴する蹴武の型のチャンピオンを決定する。
- 4, 本試合とその練習過程を通じ、フルコンタクト系武道界における相対的な競技力向上をはかる。
「フルコンタクト系空手に勝とも劣らないフルコンタクト・テコンドー」を目指す。

【5】開催日時

2015 (平成27) 年11月28日 (土) 17:00開演

【6】開催場所

後楽園ホール

東京都文京区後楽1-3東京ドーム・シティー内 TEL(03)3817-6092

【7】出場資格と全日本大会選抜者基準

- 1, エントリー種目の制限

個人戦・団体戦あわせて2種目まで出場を認める。

JTA法・能力実力集中法にもとづき、個人戦の組手と型に選抜・推薦されていたとしても、最も優勝・入賞する確率の高いいずれか1種目を選択しなければならない。

ただし、「2015年度、A級蹴士(含準A級蹴士)」は、個人組手および型の2種目参加を認める。

- 2, 出場資格(有段者に限る)

- ①男子無差別級組手は、全日本FT大会予選会を通じて選抜・推薦された18歳以上の選手
ただし、A級はJTAで最も優れた8名以内の選手に限る。
- ②女子無差別級組手は、全日本FT大会予選会を通じて選抜・推薦された16歳以上の選手
- ③蹴武の型(男女混合)は、全日本FT大会予選会を通じて選抜・推薦された選手
- ④高校生、中学生、小学生組手試合は、都道府県大会等で優勝・入賞し選抜・推薦された選手
- ⑤壮年部無差別級組手は、関西大会等に出場し、選抜・推薦された選手
- ⑥蹴武型団体戦は、団体戦型予選会に出場し、選抜・推薦されたJTA加盟クラブ・都道府県連チーム

【8】試合種目・表彰

一、組手試合（全ての種目は参加人数の変動により、2～3位を表彰しない場合があるあ）

1、男子組手A級無差別級試合（ヘッドギア無し）

優勝 トロフィー、大金メダル、大賞状

準優勝 大銀メダル、大賞状

3位 大銅メダル、大賞状

* J T Aで最も優れた選手8名以内を選抜し、ヘッドギア無しで実施する。

フルコンタクトテコンドー・チャンピオンは本階級優勝者である。

2、女子組手無差別級試合

優勝 トロフィー、大金メダル、大賞状

準優勝 大銀メダル、大賞状

3位 大銅メダル、大賞状

3、壮年部組手無差別級試合

優勝 大金メダル、大賞状

準優勝 大銀メダル、大賞状

4、男子組手B級無差別級試合（ヘッドギア有り）

優勝 大金メダル、大賞状

* 初出場選手等はヘッドギア無しでは危険と判断し、死亡事故等防止のため新設する。

5、高校生男子組手無差別級試合

優勝 金メダル（J T Aオリジナル）、大賞状

準優勝 銀メダル、大賞状

3位 銅メダル、大賞状

6、中学生男子組手無差別級試合

優勝 金メダル（J T Aオリジナル）、大賞状

準優勝 銀メダル、大賞状

3位 銅メダル、大賞状

7、中学生女子組手無差別級試合

優勝 金メダル（J T Aオリジナル）、大賞状

8、小学生男子組手無差別級試合

優勝 金メダル（J T Aオリジナル）、大賞状

準優勝 銀メダル（J T Aオリジナル）、大賞状

3位 銅メダル（J T Aオリジナル）、大賞状

二、蹴武の型試合（男女混合試合）

1、一般部型

（男子ブロックと女子ブロックにわける。ただし、男女参加人数の変動により混合ブロックもある）

優勝 トロフィー、大金メダル、大賞状

準優勝 大銀メダル、大賞状

3位 大銅メダル、大賞状

* 4位は廃止する

2、少年少女部型（中学生・小学生男女混合）

優勝 金メダル（J T Aオリジナル）、大賞状

準優勝 銀メダル（J T Aオリジナル）、大賞状

3位 銅メダル（J T Aオリジナル）、大賞状

<注意 参加人数の変動により、2～3位を表彰しない場合もある>

三、蹴武の型団体戦

優勝 楯、金メダル（J T Aオリジナル3名分）、大賞状

準優勝 楯、銀メダル（J T Aオリジナル3名分）、大賞状

3位 楯、銅メダル（J T Aオリジナル3名分）、大賞状

<注意 参加団体の変動により、2～3位を表彰しない場合もある>

四、最優秀選手賞

ITA杯

1名

次回大会まで優勝選手が保管し、次大会開会式で返却する。

五、第27回全日本FT大会シード権

男子組手「ベスト4」、女子組手優勝者、蹴武の型「ベスト4」、少年少女部蹴武型1位入賞者等に2016（平成28）年11月26日（土曜日）午後5時開演 後樂園ホール開催が確定している第27回全日本フルコンタクト・テコンドー選手権大会の出場権を与える。

六、蹴美新人賞

大賞状 1枚

全日本大会初出場選手の中、最も優れた新人選手1名を表彰する。但し、該当者がいない場合もある。

【9】試合ルール

一、男女無差別級組手試合

1、J T Aフルコンタクト・テコンドー・ルール

（技有り・一本勝ち、蹴美7will、勝者負傷の場合限定の敗者復活戦、最高審判長審議等）

2、試合時間

①1～3回戦 本戦2分1R。 延長戦2分（1R迄）

②準決勝戦 本戦2分1R。 延長戦2分（2R迄）

③3位決定戦 本戦2分1R。 延長戦2分（1R迄）

④決勝戦 本戦2分1R。 延長戦2分（3R以内）

⑤その他 本戦終了後、延長戦開始までの休憩は1分とする。

3、防具の着用、コンタクト・レンズの禁止など

①J T A指定のヘッドギアを着用しなければならない（青もしくは赤）

男子B級・女子・壮年・高校生・少年少女選手は、面付き防具を必ず着用しなければならない。

- ② J T A指定の手・足のテコンドー防具（青もしくは赤）を着用しなければならない。
写真撮影上、防具が壊れていたり、テープで補強（とくに色違いのテープ）してはならない。
- ③ フルコンタクト・ルールの組手出場選手は、安全上、マウスピースを着用しなければならない。
ただし、無色透明に限る。色の付いたマウスピースは禁止する。
- ④ 男子は、ファールカップを必ず着用（道衣の中）しなければならない。
- ⑤ 手のバンテージや蹴り・突きの威力を増すための防具の着用は禁止する。発覚次第、失格。
- ⑥ 上記以外の防具（スネ・膝・肘などのサポーター）の着用やテーピングなどは、事前に大会主催者に届け出、医務関係者の許可・検印を受けなければならない。
なお、白色のスネサポーターは限る。黒等の色のついたスネサポーターは着用を禁止する。
- ⑦ 試合で着用した防具、テーピング、包帯などは、体重判定の際、外すことはできない。
- ⑧ 打撃系格闘技でコンタクト・レンズの着用は、失明等が生じ危険であるため禁止している。
時間節約のため着用の事前確認をしないが、万一、着用していることが発覚する所動作（ずれたものを元に戻したり、落としたものを探す動作等）を行った場合、減点2＝負けとする。
- ⑨ 少年少女部の組手選手は、J T A指定の胸防具（自己所有に限る）を着用しなければならない。
貸与は行わない。
- ただし、次の場合、特例として貸与する。
イ、飛行機で移動する遠方の選手（飛行機の荷物制限等を配慮する）
ロ、上記、胸防具を所有している選手
参加申込書送付時に「胸防具貸与希望書（様式随意）」を添付すること。氏名とサイズを明記
- ⑩ その他は、必要に応じて主催者が定め選手に通知する。

4、壮年部、高校生、中学生、小学生は、事故防止のため別途組手ルールを定める。
回し蹴り禁止等。J T A本部HP参照

5、組手審判

1) フルコンタクト組手

- ① 主審1名、副審2名、蹴美審判1名の4名とする。
- ② 最高審判長は、上記審判の判定に対し、最高審判長審議を請求できる。
- ③ 準決勝戦および決勝戦に直属の弟子（独立した者は除く）が進出した場合、該当審判は交代する。

2) ライト・フルコンタクト組手（強打の全面禁止）

- ① 主審1名、副審2名の3名とする。
- ② 最高審判長は、上記審判の判定に対し、最高審判長審議を請求できる。
- ③ 準決勝戦および決勝戦に直属の弟子（独立した者は除く）が進出した場合、該当審判は交代する。

二、蹴武の型（個人戦）

1、蹴武型ブロック毎の決勝戦進出者

①選手は、Aブロック、Bブロック、Cブロック、Dブロックの4ブロック毎にトーナメント戦を行う。
ブロック分けは、「2015年度蹴武の型ベスト7」に基づくランキングを基準とする。

②マット上で、対戦者2名が、清衡、義家、柳韓、忠武、若光、乙支、関羽、張良の中、自由選択した型を演武する。旗上げによって勝敗を決し、ブロック毎の勝者1名を決定する。

③選手は、三つ以上の型を準備し、申請書に事前登録しなければならない。
ブロック予選は、登録した三つの型を順番に演武しなければならない。同じ型の連続は不可とする。

④延長戦は、本戦で演武した型と異なるのであれば演武を認め、上記の同じ型の連続とはみなさない。
たとえば、関羽、張良、忠武を事前登録したA選手が、1回戦で関羽を演武したところ延長戦となり、忠武を演武して勝利した場合、A選手は2回戦本戦でも忠武を演武することができる。

2、蹴武型の決勝戦

ブロック勝者4名は決勝戦を行う。1名づつリング上で指定型・聖徳を演武し、順位を決定する。
聖徳の演武を失敗した場合は、失格とし、表彰しない。入賞者は指定型を必ず修得しなければならない。

3、蹴武型審判

①3名とする。

②最高審判長は、上記審判の判定に対し、最高審判長審議を請求できる。

三、少年少女部（中学生・小学生）蹴武の型試合

1、予選

①選手は、トーナメント戦を行いベスト4を決定する（参加人数に応じてベスト2となる場合もある）。

②マット上で、対戦者2名が、龍馬、武蔵、謙信、清衡、義家、柳韓、忠武、若光、乙支、関羽、張良の中、自由選択した型を演武する。旗上げによって勝敗を決する。

③上記の予選では、連続して同じ型を演武することはできない。延長戦時も同じ。
ゆえに選手は、二つ以上の型を準備し、申請書に事前登録しなければならない。

2、決勝

決勝戦進出者は、予め申請書に届け出た二つの型の中、最も得意とする型を演武し、勝敗を決定する。
なお、三つの型を事前登録している場合、決勝戦で加点する。

3、審判については上記「二の3」に準ずる。

四、蹴武の型（団体戦）

1、蹴武型団体戦の決勝戦進出団体

①団体戦の選手は3名（男女混合、一般・壮年と少年少女部の混合チーム可）とする。

② 1チームずつ、予め申請書に届け出た自由型Aを演武し、上位2～3チームを選抜する。

2、蹴武型団体戦の決勝戦

上位2チームは1チームずつ予め申請書に届け出た予選とは別の自由型Bを演武し勝敗を決する。

3、蹴武型審判

個人戦に準じる。

五、セコンド

①セコンドは、J T A現役会員に限る。休会中の者は不可。

②組手は3名以内、型は1名とする。

③禁止事項

私服は禁じる。セコンドにふさわしい服装を義務づける。元会員やOBは不可。

【10】ドーピング検査

1、選抜された選手は、ドーピング検査に協力し、拒否することはできない。

ドーピング検査に協力しない場合、その時点で失格とし、予備出場枠選手を出場させる。

2、万一、試合終了後のドーピング検査により、陽性反応が出た場合、全試合失格とし、氏名を公表し、永久追放とする。その場合、順位を繰り上げる。

【11】大会出場申込書類・申し込み締め切り

1、必要書類等

1) 大会出場申込書（含む誓約書・ドーピング検査許諾書） 1通

壮年部は、「扶養家族（保護者）同意書」を提出しなければならない。

2) セコンド登録およびコメント確認書 1通

3) 正装写真（5cm*5cm、裏に氏名明記。3ヶ月以内撮影、画質の良いデジカメ写真可） 1枚

毎年、上記の規格を守らないで送る者が若干存在するが、その場合、書類不備として失格とする。振り込まれた参加費用は失格のため返金しない。

写真の裏に氏名を明記。明記していない場合はパンフレットに掲載しない。

4) 簡易健康証明書 1通

（様式随意。コピー可。学校、企業、官公庁などでの健康診断の結果を記載したものでも可）

5) 電子メールによる選手写真およびデーターのマステック社（パンフレット作成業者）への送付

本年度よりパンフレット作成の労力低減と時間的短縮をはかるため下記の必要事項をマステック社・深沢氏宛に、締切り期日の10月31日迄、電子メールで送付して下さい。

ただし、メール送付は1回のみとする。

昨年度、何度もさしかえ、修正メールを送った者がいるが、1修正メールにつき罰金1万円とする。

改訂されれば、その都度、費用が生じることを認識しなければならない。

送付先電子メールアドレス fukazawa.mastec@gmail.com

本文記載事項 (かならず順序通り、番号を省略しないで明記。不備がある場合、パンフには掲載しない)

選手氏名 (パンフレットに旧字を希望する場合は旧字。難解な旧字は自ら作成しメールで送ること。
その作業を怠った場合は新字となる)

① JTA 段位

② 2015年度、JTA ランキング 順位 (出場する種目の正式名を明記)

個人戦のみの例) 「男子組手 1 位」、「一般型 2 位」、「女子組手 3 位」、「壮年組手 4 位」
「中学組手 2 位」、「小学生男子組手 3 位」、「中学生女子組手 2 位」、「少年少女部型 1 位」等

団体戦のみの例) 団体型第 2 位

個人戦 1 種目と団体戦の例) 「一般型 2 位 & 団体型 1 位」、「小学生女子組手 1 位 & 団体戦型 3 位」

注意) 本年度予選会での優勝または前年度全日本大会での入賞にもとづく本大会への出場権獲得以外は、
すべて推薦出場となる。よって個人戦の推薦出場の選手は、上記の順位の右隣に「推薦」と明記。
例) 「男子組手 2 4 位・推薦」、「壮年組手 5 位・推薦」、「中学生女子組手 4 位・推薦」

③ 所属クラブの正式名称 (パンフレットの記載名称は主催者が判断)

④ 年齢 (2015年11月28日時点の満年齢)

⑤ 身長と体重

組手は全種目が無差別級 (男子 90kg 迄、女子 70kg 迄) であり、延長戦で決着がつかない場合、
体重が勝敗基準となる。

大会当日の計量は申告体重の確認となり、司会は基本的にパンフレット記載の申告体重を伝えるため
著しい乖離があると会場から失笑を買うので体重変動の激しい選手は注意しなければならない。

⑥ 出身地 (出生地)

例) 東京都大田区、神奈川県横浜市、福岡県筑紫野市、合併した場合は、鹿児島県霧島市国分等

⑦ 本年度予選会または前年度全日本大会時の最高成績 (入賞種目は正式名・授与された表彰状参照)

⑧ 個人戦組手選手の場合は得意技、個人戦型および団体戦型選手の場合は得意型

⑨正装写真 (デジタルカメラで撮影した正装写真を添付ファイルで送付)

注意) 電子メールで送る内容は、すべて申請書と同じ内容にしなければならない。

2、参加費用 (個人戦1種目・組手または型と団体戦型の2種目参加も参加費用は同じです)

一般・壮年・大学生・高校生 15、000円

中学生・小学生 10、000円

3、参加費振込先 (振込手数料は振込み人が負担して下さい)

[ゆうちょ銀行口座]

10080-72021411

[名 義]

カ) アイティーエー

注意 ゆうちょ銀行の自己名義の通帳等からゆうちょATMを通じて振込めば手数料は無料です。
ただし、親等の名義ではなく、選手本人の名義で振り込んで下さい。確認ができません。
体育会員の場合、選手本人が直接振り込み、その振り込み書類を主務に提出し精算して下さい。

4、申し込み締め切り (厳守)

2015 (平成27) 年10月31日迄 (消印有効)

上記期限迄、申請書が到着しない場合、失格または出場辞退となります。

いかなる事情があろうとも例外は認めず交渉は一切行いません。

パンフレット作成のため必ず期限を厳守してください。パンフレットには氏名以外は掲載されません。

3、上記、書類一式郵送先

〒144-0045

東京都大田区南六郷3-18-1-1301

日本テコンドー協会 御中

注意1 持参受け取りは一切行いません。

受け取りサインを必要とする書留や各種運送会社による送付は行わないで下さい。

日本の郵便制度は優れており、届かなかったことはありませんので普通郵便で送付して下さい。
速達料金を節約すべく余裕をもって郵便局へ赴き料金不足が生じないように注意して下さい。

注意2 上記の書類一式は、透明のクリアファイル（新品に限る。汚れたものを送らないで下さい）に入れてください。かならず郵便局で重さをはかり切手代に不足が生じないようにしてください。

4. 問い合わせ

全日本F T大会実行委員長 盛島一盛
携帯090-2218-9443 メールkm@jita.jp

【13】注意事項

- 1、理由の如何を問わず一度納入された参加費は返却しません。
- 2、試合参加申請書および参加費用振込用紙には、必ず所属クラブ名を明示して下さい。
- 3、選手は必ず各種保険証の現物を持参して下さい。
- 4、後楽園ホールには、ペットボトルや缶の飲み物を持ち込まないで下さい。
- 5、ロッカールームや試合観覧席などでの盗難には十分注意してください。大会主催者と後楽園ホールは一切責任を負いません。
- 6、全日本大会のテレビなどの放映権、書籍、雑誌、ビデオなどの著作権や肖像権などの諸権利はすべてJ T Aに帰属します。
- 7、ビデオ撮影は原則的に禁止です。
- 8、すべての選手は、全日本大会当日の午後2時00分にYMCAアジア・ユースセンター国際会議室（J T A総会開催場所）に集合し、選手受付を済ませなければならない。
遅刻した場合は、理由の如何を問わず失格処分とする。
- 9、申請書に記載されている体重が、男子80kg以上、女子60kg以上の選手は計量を実施します。

【14】観覧（有料）全席自由席

チケット販売先 J T Aクラブ、チケットぴあ、セブンイレブン、後楽園ホール

一般	当日3000円（前売り2500円）
小学生・中学生	当日1500円（前売り1000円）
未収学者	無料

第26回全日本フルコンタクト・テコンドー選手権大会参加申込書・誓約書・ドーピング検査承諾書

大会会長 河 明生殿

私は、下記の事項を誓約し、許諾し、全日本大会への出場を申し込みます。

- 1、貴大会の大会規約を遵守し、大会関係者の指導、勧告、注意などに従います。
- 2、貴大会の試合ルールを遵守します。とくに、手による顔面強打は、絶対行いません。
万一、自己の手による顔面強打により、相手方が負傷し、その治療費が保険金で賄えない場合（たとえば、歯の骨折など）治療費の実費を相手方に弁償します。
- 3、審判の判定に対する絶対性を尊重し、武道家として模範的行動をとることを誓います。
万一、判定を不服とした自己の行為が、審判に対する侮辱的行為であると大会主催者からみなされた場合、試合結果の無効、除名や試合出場停止処分などの処罰を受けても異議を申し立てません。
- 4、私は、「フルコンタクト・テコンドーは、格闘技であり安全ではない」という事実を認識し、自らの意志により本大会への参加を希望します。
それゆえ試合において如何なる事故が生じても、自己の責任として処理し、本大会主催者ならびに貴大会関係者に対し、異議を申し立てないことを誓約します。
- 5、試合により「事故当事者」となった場合、下記の保険内容での処理にあらかじめ同意します。
民事訴訟などにより、大会主催者およびその関係者に対して民事上の責任を問いません。
死亡・後遺障害（失明等）組手選手5千万円、型選手1千万円、入院1日6千円、通院1日4千円
- 6、私は、所属クラブを通じて「スポーツ安全協会スポーツ安全保険」に加入しています。
- 7、尿や血液採取など如何なるドーピング検査にも全面的に協力し、異議を申し立てません。
陽性反応が出た場合、氏名・所属団体の公表など定められた罰則に従います。
- 8、エントリーした場合、かならず貴大会に出場します。
病気・入院、親族のご不幸等、正当な理由無く欠場した場合、反則金10万円を支払います。
- 9、本全日本大会のテレビなどの放映権、試合を記録した文章や写真などを利用した書籍、雑誌、ビデオなどの著作権や肖像権などの諸権利は、すべてJTAに帰属することに同意し、誓約します。
一本負け等のシーンをDVDやインターネット等を通じて公に配信することに同意し、繰り返し放映させることに対し、配信停止要求や精神的慰謝料等を請求しないことを誓約します。
- 10、大会終了後、「JTA信義法」に背き除名された場合、本大会および過去の全日本大会での入賞取り消しに同意し、獲得したトロフィーやメダル等は送料を負担し、すべてJTAに返却します。
上記の一つでも違背した場合、大会主催者の定めた規程および罰則を遵守し、異議を申し立てません。

年 月 日

申請者 住所 _____

(ふりがな)

氏名 _____ 印 _____ 現段 _____ 段 _____

電話 _____ 緊急事故時の電話 _____

生年月日（西暦） _____ 年 _____ 月 _____ 日生（ _____ 歳）

身長 _____ C m、 体重 _____ K g 血液型 _____ 型 *必ず記入

所属 _____ 組手・得意蹴技 _____ 型・得意型 _____

出身地 _____ 都・道・府・県・外国 _____ 市・町 出身 _____

過去の全日本大会、本年度予選会等成績

1

2

出場種目（○印） 男子組手A級（ヘッドギア無し） / 男子組手B級 / 女子組手
 壮年組手 / 高校生組手 / 中学生男子組手 / 中学生女子組手 / 小学生男子組手

一般型 / 少年少女部型 →（事前登録型① / ② / ③）

蹴武型団体戦 団体名 _____（予選自由型A 決勝自由型B _____）

第26回全日本フルコンタクト・テコンドー選手権大会参加 扶養家族・保護者誓約書
大会会長 河 明生殿

私は、下記の事項を誓約します。

危険性の高いフルコンタクト・テコンドー・ルールにもとづく壮年部または一般部の全日本F T大会への出場を希望する「夫または子（以下、甲。高校生・18歳未満選手も含む）」の意志を尊重し、上記の試合の出場に同意し、下記事項を誓約いたします。

- 1、私は、「フルコンタクト・テコンドーは、格闘技であり安全ではない」という事実を認識し、甲が自らの意志により本大会への参加を希望しており、その意志を尊重します。

それゆえ試合において如何なる事故が生じても、甲の自己責任として処理し、本大会主催者ならびに貴大会関係者に対し、異議を申し立てないことを誓約します。

- 2、試合により「事故当事者」となった場合、下記の保険内容での処理にあらかじめ同意します。

如何なる事故が起きようとも、損害賠償、慰謝料、治療費等を名目に訴訟を起こしません。

大会主催者およびその関係者に対して民事上の責任を問いません。

死亡・後遺障害（失明等）組手選手5千万円、型選手1千万円、入院1日6千円、通院1日4千円

- 3、本全日本大会のテレビなどの放映権、試合を記録した文章や写真などを利用した書籍、雑誌、ビデオなどの著作権や肖像権などの諸権利は、すべてJ T Aに帰属することに同意し、誓約します。甲の一本負け等のシーンをDVDやインターネット等を通じて公に配信することに同意し、繰り返し放映させることに対し、配信停止要求や精神的慰謝料等を請求しないことを誓約します。

上記に一つでも違背した場合、大会主催者の定めた規程および罰則を遵守し、異議を申し立てません。

年 月 日

試合参加者（甲）

氏名

誓約者と甲との関係 妻 、 子 、 保護者・親 、 その他（法律上の関係 ）

住所

（ふりがな）

氏名

印

電話

緊急事故時の電話

誓約者生年月日（西暦） 年 月 日生（ 歳）

第26回全日本F T大会セコンド登録参加申込書

申請選手

印

所属

1, 私は、下記の会員をセコンドとして登録します。

<注意 セコンドは現役会員のみ。OBは不可。有料チケット必要>

メインセコンド氏名	所属	段・級
サブセコンド氏名	所属	段・級
サブセコンド氏名	所属	段・級

2, 全日本フルコンタクトセコンド選手権大会 選抜者コメント&入賞者コメントおよび道衣写真

J T A本部HP上には予選会優勝者および注目選手（主催者が選抜）を掲載するので

jtataekwondo@gmail.com

迄メールで速やかに送信して下さい（下記、○または期日を書き込み）

1) 大会前 抱負・思い・決意等の文章（10月31日迄。厳守）

①送信しました

②10月 日迄送信します

2) 大会後 入賞者の感想（12月3日迄。厳守）

①了解しました

3) J T A黒帯道衣着用デジタルカメラ写真（10月31日迄。厳守）

注意 生活感のある自宅等の背景が認められる場合は掲載しません。道場・体育館・屋外で撮影

組手出場選手の写真1ポーズ ファイティングポーズ、蹴り、平行立ち+臥龍の構え

型出場選手の写真1ポーズ 半後屈立ち+七龍の構え、蹴り、平行立ち+臥龍の構え

①送信しました

②10月 日迄送信します